

生活支援体制整備事業 協議体イメージづくり資料

板橋区おとしより保健福祉センター
板橋区社会福祉協議会

平成30年10月版



事業の概略イメージ

【事業の大きな「ねらい」】

- ・ 地域の高齢者が支え合い活動等へ社会参加することを促す
- ・ 地域の支え合い活動等を充実・強化・創出する
- ・ その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを推進する

まとめると「地域づくり」

協議体

(支え合い会議)

…地域の活動者、つなぐ活動者、支援の活動者が「ワイワイガヤガヤ」話し合う場
(茶話会・井戸端会議)

【地域の活動者】

地域の世話好きさん
伝統などに詳しい物知りさん
地域に暮らす住民 など

【つなぐ活動者】

多様なネットワークを持つ人
地域や専門職をつなぐ人 など

【支援の活動者】

制度に基づくサービスの提供者
組織化された活動の活動者 など

生活支援コーディネーター

(地域支え合い推進員)

…人と場、人と人、人と支援、思い・心、情報など様々なものをつなぎ、多様なネットワークを育てていく「つなぎ組み合わせていくプロ（調整役）」。

協議体と協働しながら、地域に入り、人々の暮らしの中にある様々な知恵や工夫、技を見つけ出し、意味づけて、周囲に見えるようにする。

協議体って何するところ？

協議体のイメージは… **地域の「茶話会・井戸端会議」**

まずは…

定期的な
地域情報の共有

ゆくゆくは…

※ **できること探し**

どんな地域情報を共有するの？（例）

- ・ 地域であった「ちょっといい話（こと）」
- ・ 地域にある「ちょっと困った話（こと）」
- ・ 支え合い活動（地域活動）のこと
- ・ 地域で起きていること／していること
- ・ 地域のことで気になること／知りたいこと

※ **地域のことであれば極論「なんでもOK」**
⇒ **地域の「宝物探し」のようなイメージ**

どんなできること探しをするの？（例）

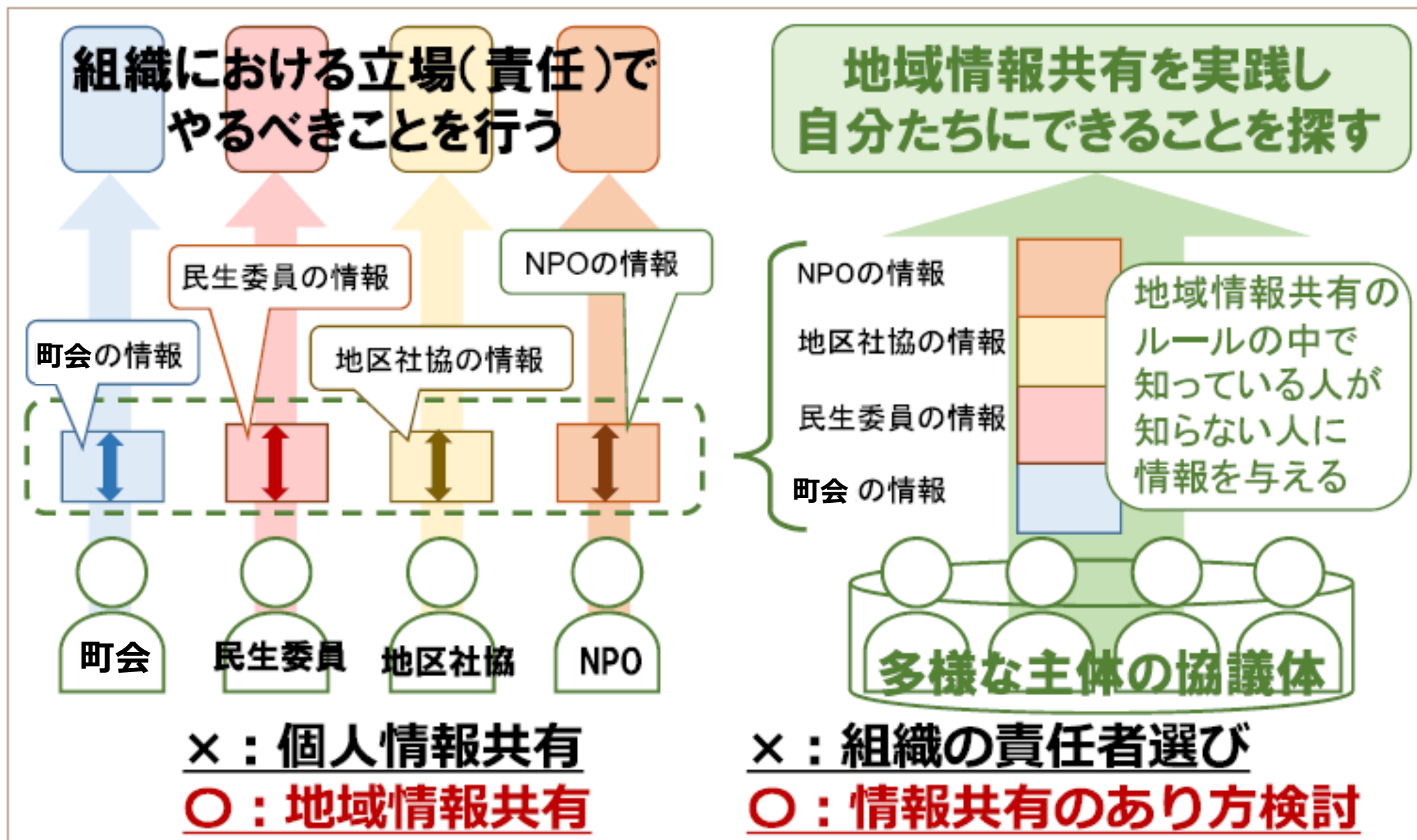
- ・ 地域であるといいこと／できたらいいこと
 - ・ 支え合い活動（地域活動）の活性化・応援
 - ・ 支え合い活動で解決できること探し
- ⇒ 各ネットワークを活用しながら「**どんな支え合い活動をどう創出するか**」を検討

※ ゆくゆく「ねらい」であり、急がなくてOK・無理なくできる範囲でOK

⇒ とにかくにも協議体でやることは「**地域情報の共有**」

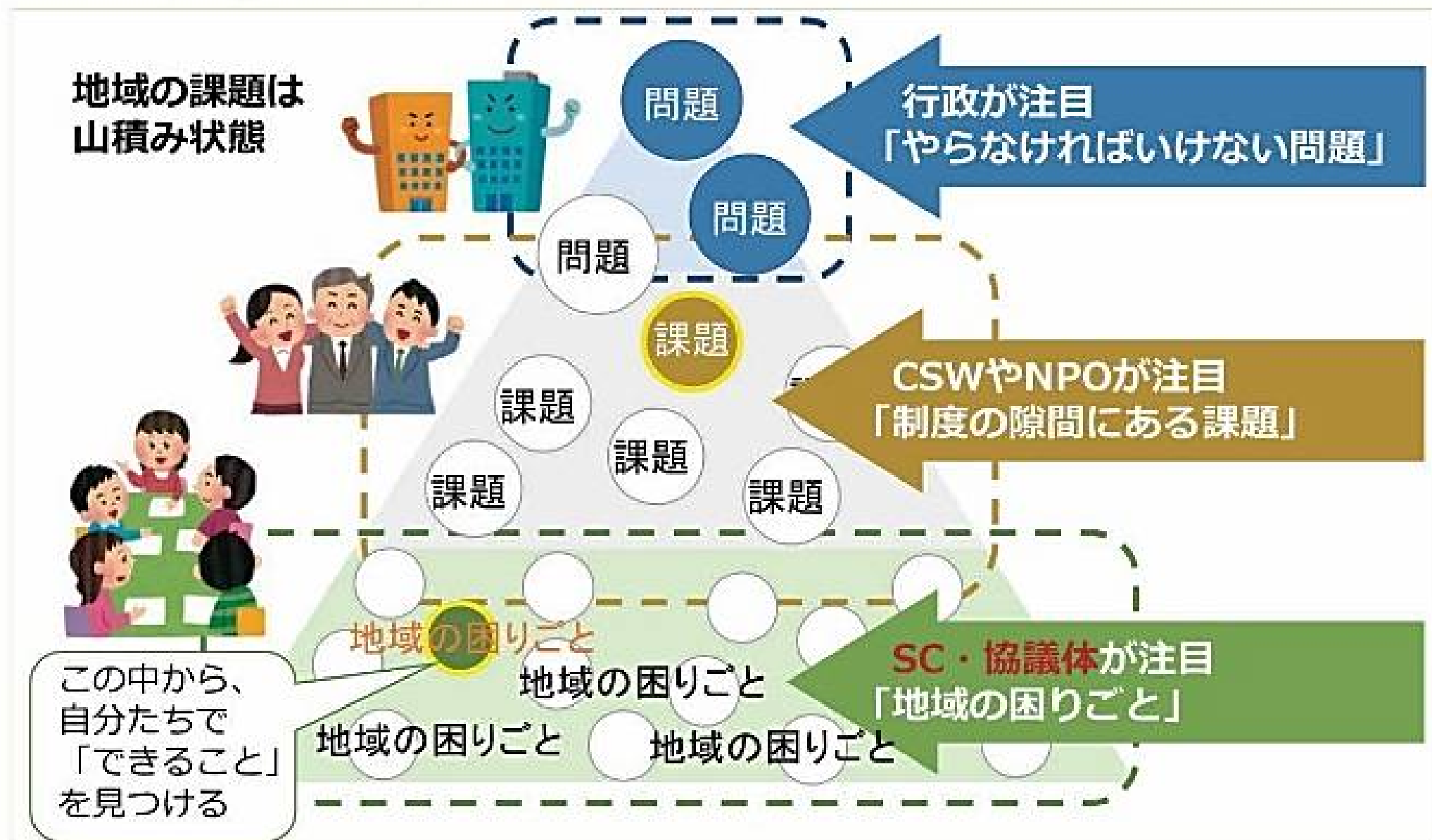
協議体でおこなう「地域情報の共有」

協議体の前提となる情報共有の考え方



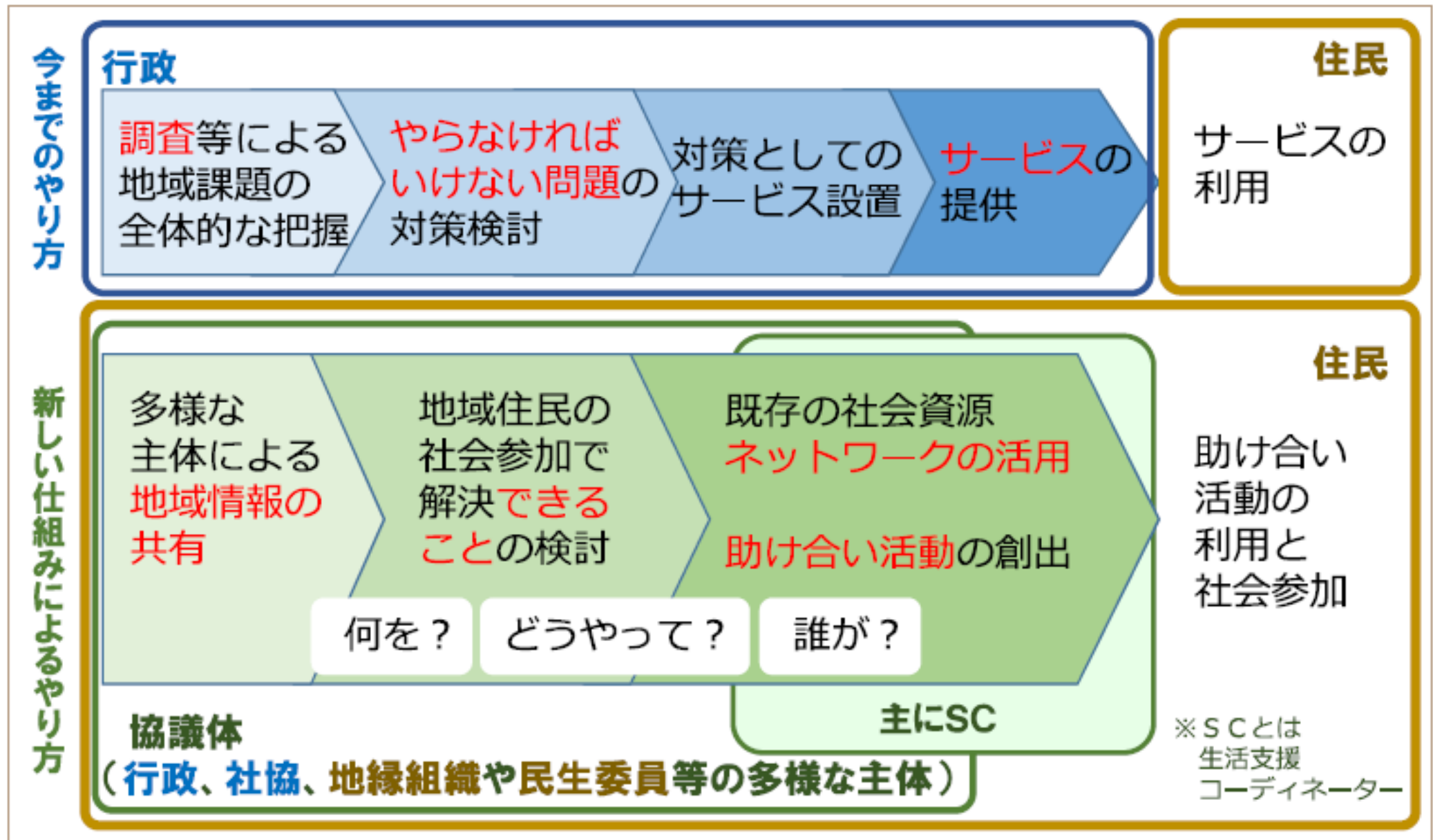
協議体は「地域のちょっとした困りごと」に注目する

地域の課題への対応



協議体は「地域づくりの視点」が大切

新しい仕組みに向けた意識改革(行政、住民)



①立ち上げ準備

地域の助け合い・支え合いを考えていくために、セミナーや準備会を複数回開催し、参加者と協議体のづくり方や構成メンバーなどについて話し合います。

②設置・運営

無理のない範囲で地域情報の共有を継続しながら、その地域ならではの支え合いの仕組みを協議し、地域の皆さんとともに地域づくりを進めていきます。

③生活支援コーディネーター

協議体から選出された生活支援コーディネーターが、社協と協力して、協議体の事務局運営や地域の調整役を担っていきます。

①立ち上げ準備

地域づくりセミナー・準備会

※平成30年10月～開始
熊野地域
仲町地域

②協議体設置・運営

協議体設置・運営

清水地域
中台地域
富士見地域
大谷口地域
下赤塚地域

③生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターの選出・活動

常盤台地域	板橋地域	舟渡地域
桜川地域	仲宿地域	
成増地域	蓮根地域	
徳丸地域	前野地域	
高島平地域	志村坂上地域	



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲シニアガイドの配布



▲地域情報をまとめた「シニアガイドブック」

- ・準備会 全3回
- ・平成28年10月14日立上げ
- ・メンバー（全14名）
 - 町会・自治会 3名
 - 民生・児童委員 1名
 - サロン 2名
 - NPO 2名
 - 介護事業所等 1名
 - 民間企業等 1名（UR）
 - 一般 1名（住民）
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（10～20名）
- ・コーディネーター（3名）
 - 町会2名＋民生1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第17回）

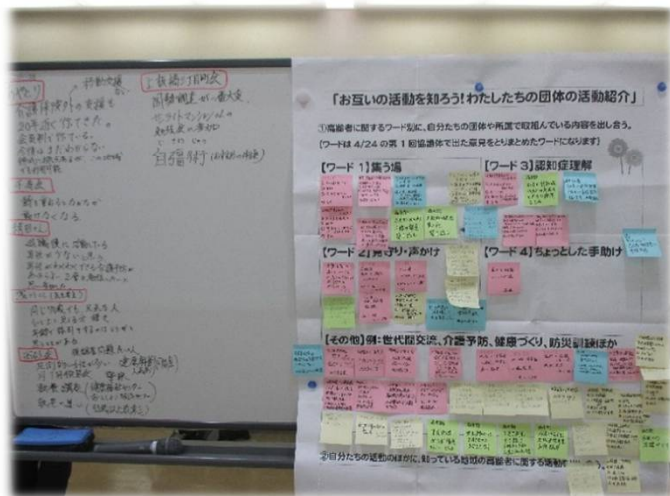
- ・目指す地域像の共有 ⇒ スローガンを「独りじゃないよ 繋がりあって安心 高島平」に決定
- ・各地域活動について情報共有・把握し、集約した地域情報を地域へ発信する方法を検討
 - ⇒各地域活動へ高齢者等の参加を促すために「高島平シニアガイドブック」を作成・全戸配布
 - ⇒サロン等の活動空白地域へのアプローチ、活動に派遣できる講師リストの作成等を今後検討予定



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲地域情報の共有



▲協議体の様子

- ・準備会 全4回
- ・平成29年4月24日立上げ
- ・メンバー（全13名）
 - 町会・自治会 2名
 - 民生・児童委員 2名
 - 老人クラブ 1名
 - 商店街 2名
 - サロン 1名
 - 介護事業所等 1名
 - その他 1名（大学）
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（5～10名）
- ・コーディネーター（1名）
 - 社協常設拠点
 - （まもりん坊ハウス）

主な話し合い内容&活動内容（現在第17回）

- ・各地域活動の近況等について情報共有し、協議体として何ができるか意見交換
 - ⇒各地域活動の活動状況をまとめた一覧表の作成
 - ⇒各地域活動へ高齢者等の参加を促すために各地域活動のPR支援の検討



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲テーマ毎の話し合いの様子



▲テーマ毎の話し合いの様子

- ・準備会 全5回
- ・平成29年4月10日立上げ
- ・メンバー（全20名）
 - 町会・自治会 12名
（うち民生・児童委員8名）
 - 老人クラブ 1名
 - サロン 1名
 - NPO 1名
 - 介護事業所等 1名
 - 行政 1名
 - 包括 2名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討予定）
- ・コーディネーター（9名）
 - 町会6名＋NPO1名＋包括2名
（調整役3名、司会書記2名、
会計2名、監査役2名）

主な話し合い内容&活動内容（現在第18回）

- ・地域の困りごとについて情報共有し、協議体として取り組むメインテーマを下記のとおり決定
 - ①地域の憩いの場の普及・応援・充実 ②地域活動の情報共有及び地域への情報発信・PR支援等の検討
 - ③介護予防・防犯・見守り等を兼ね、社会参加を促すような「お散歩コース」の検討



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲地域情報の共有



▲アンケート調査の項目について検討中

- ・ 準備会 全2回
- ・ 平成29年4月17日立上げ
- ・ メンバー（全19名）
 - 町会・自治会 2名
 - 民生・児童委員 6名
 - 老人クラブ 1名
 - サロン 2名
 - 介護事業所等 2名
 - その他 1名（図書館）
 - 行政 1名
 - 包括 3名
 - 社協 1名
- ・ 協力員（10～15名）
- ・ コーディネーター（2名）
 - 成増地域包括支援センター（ケアタウン成増）

主な話し合い内容&活動内容（現在第17回）

- ・ 各地域活動について情報共有・把握し、集約した地域情報を地域へ発信する方法の検討
⇒各地域活動へ高齢者等の参加を促すためにマップ等の作成を検討
- ・ 地域のニーズや困りごとを把握する方法（アンケート等）の検討・実施

各地域の様子（徳丸地域）

※平成30年9月末現在



▲準備会の様子



▲各地域活動の把握



▲第2回徳丸を歩こう会（H30.9月実施）



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成29年6月27日立上げ
- ・メンバー（全32名）
 - 町会・自治会 19名
 - 民生・児童委員 3名
 - 老人クラブ 2名
 - サロン 1名
 - 社会福祉法人 1名
 - 介護事業所等 3名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（5～6名）
- ・コーディネーター（4名）
 - 町会・自治会 2名
 - 社会福祉法人 1名
 - （マイライフ徳丸）
 - 老人クラブ 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第9回）

- ・各地域活動について情報共有・把握し、今後の方向性の検討（地域情報をまとめた資料等を作成中）
- ・閉じこもりがちな人へ社会参加を促すアプローチ方法の検討
⇒イベント等を開催し、各地域活動へ高齢者等の参加を促すために併せて各地域活動をPR紹介



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲協議体の様子



▲地域情報誌の発行

- ・準備会 全3回
- ・平成29年11月29日立上げ
- ・メンバー（全15名）
 - 町会・自治会 4名
 - （うちサロン 1名）
 - 民生・児童委員 3名
 - 介護事業所等 2名
 - ネットワーク 1名（NPO）
 - 一般 2名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター（検討中）

主な話し合い内容&活動内容（現在第10回）

- ・地域情報全般について共有し、今後の方向性の検討
- ⇒支え合いや交流の活性化、社会参加を促すために、各地域活動を紹介する地域情報誌の発行を検討
- ⇒現在さらに地域情報を共有しながら第2号を作成中

各地域の様子（前野地域）

※平成30年9月末現在



▲準備会の様子



▲地域情報の共有



▲協議体の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成29年11月20日立上げ
- ・メンバー（全14名）
 - 町会・自治会 3名
 - 民生・児童委員 2名
 - サロン 2名
 - NPO 1名
 - 介護事業所等 1名
 - 大学 1名
 - ネットワーク 1名(サロン)
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（5～10名）
- ・コーディネーター(1名)
 - 介護事業所等

主な話し合い内容&活動内容（現在第9回）

- ・各地域活動やその他地域情報全般について共有し、今後の方向性の検討
 - ⇒支え合いや交流の活性化、社会参加を促すために、各地域活動を紹介する地域情報誌の発行を検討
 - ⇒創刊号（第1号）を発行し、支え合い会議の紹介を行う



▲協議体の様子



▲協議体の様子



▲地域情報の共有

- ・ 準備会 全2回
- ・ 平成29年11月8日立上げ
- ・ メンバー（全22名）
 - 町会・自治会 13名
 - （うち民生・児童委員 3名）
 - 民生・児童委員 2名
 - サロン 1名
 - NPO 1名
 - 介護事業所等 1名
 - 一般 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・ 協力員（検討中）
- ・ コーディネーター(2名)
 - 町会・自治会 1名
 - 社協 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第8回）

- ・ 高齢者への働きかけや地域の課題について情報共有し、今後の方向性を検討
- ・ 地域情報については「地域のちょっとしたいい話・関わりの成功例・気になること」をテーマに共有
- ・ 最近では高齢者の集いの場作り、老人クラブの活動についての情報共有や協議体の紹介方法を検討



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲協議体の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成29年12月11日立上げ
- ・メンバー（全17名）
 - 町会・自治会 12名
（うち民生・児童委員10名）
 - サロン 1名
 - 介護事業所等 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター（4名）
 - 町会・自治会 4名
 - 介護事業所等 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第8回）

- ・各構成員の活動から見えてきた地域の課題について共有し、今後の方向性を検討
- ・2グループに分かれ、地域情報を発信する手段としてマップを検討中（お散歩マップ、資源マップ）
※SCの進行の元、「ワイワイガヤガヤ」と楽しい雰囲気の中で話し合うことを共通認識としている



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲小グループで情報共有&検討



▲小グループで情報共有&検討

- ・準備会 全2回
- ・平成30年2月8日立上げ
- ・メンバー（全25名）
 - 町会・自治会 18名
（うち民生・児童委員 7名）
 - サロン 1名
 - 薬局 1名
 - 介護事業所等 1名
 - 一般 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター（6名）
 - 町会 4名
 - サロン 1名
 - 薬局 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第6回）

- ・ 各地域活動やその他地域情報全般について共有し、今後の方向性の検討（あり方検討が中心）
⇒構成メンバーの活動や地域のサロン・老人クラブの活動、気になること等について共有
- ・ 支え合い会議の活動を紹介するためのチラシ作成の検討



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲蓮根ささえあいの集い（H30.9）

- ・準備会 全2回
- ・平成30年3月19日立上げ
- ・メンバー（全21名）
 - 町会・自治会 11名
 - 民生・児童委員 2名
 - 老人クラブ 2名
 - 介護事業所 3名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター（5名）
 - 町会 2名
 - 民生・児童委員 1名
 - 老人クラブ 1名
 - 介護事業所等 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第6回）

- ・高齢者と地域の人との交流機会の提供、高齢者の社会参加を促すためのイベントを開催
- ・地域情報の共有を行いながら、今後の方向性を検討予定



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲地域資源の情報共有

- ・準備会 全3回
- ・平成30年5月8日立上げ
- ・メンバー（全14名）
 - 町会・自治会 6名
 - 民生・児童委員 2名
 - サロン 1名
 - 介護事業所 1名
 - 一般 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（数名）
- ・コーディネーター(検討中)

主な話し合い内容&活動内容（現在第4回）

- ・地域情報全般について共有し、今後の方向性の検討（あり方検討が中心）
- ・地域資源の情報共有を行いながら、地域資源マップの作製を検討中
- ・今後、作成枚数や配布方法なども検討していく

各地域の様子（舟渡地域）

※平成30年9月末現在



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成30年5月10日立上げ
- ・メンバー（全16名）
 - 町会・自治会 3名
 - 民生・児童委員 1名
 - サロン 2名
 - NPO 1名
 - 介護事業所 4名
 - その他（アイキッズ）1名
 - 一般 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（数名）
- ・コーディネーター(1名)
 - 介護事業者 1名

主な話し合い内容&活動内容（現在第4回）

- ・施設の空き時間を活用した「子どもの居場所づくり」の担い手として高齢者が活躍できる取り組みを検討
- ・地域情報全般について共有し、今後の方向性の検討（あり方検討が中心）
- ・地域情報については構成メンバーの活動、気になること等を中心に共有

各地域の様子（下赤塚地域）

※平成30年9月末現在



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成30年8月22日立上げ
- ・メンバー（全25名）
 - 町会・自治会 11名
 - 民生・児童委員 4名
 - サロン 1名
 - NPO 1名
 - 介護事業所 2名
 - 老人クラブ 2名
 - 一般 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター(検討中)

主な話し合い内容&活動内容（現在第1回）

- ・構成メンバーの自己紹介を中心に、地域情報の交換・共有を行っている



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全3回
- ・平成30年8月28日立上げ
- ・メンバー（全31名）
 - 町会・自治会 11名
 - 民生・児童委員 2名
 - サロン 1名
 - 介護事業所 3名
 - 老人クラブ 9名
 - その他（住宅供給公社） 1名
 - 行政 1名
 - 包括 2名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター(検討中)

主な話し合い内容&活動内容（現在第2回）

- ・構成メンバーの自己紹介を中心に、地域情報の交換・共有を行っている



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲準備会の様子



▲協議体の様子

- ・準備会 全4回
- ・平成30年8月29日立上げ
- ・メンバー（全24名）
 - 町会・自治会 11名
 - 民生・児童委員 6名
 - サロン 1名
 - 介護事業所 1名
 - 老人クラブ 1名
 - その他（JKK） 1名
 - 行政 1名
 - 包括 1名
 - 社協 1名
- ・協力員（検討中）
- ・コーディネーター(検討中)

主な話し合い内容&活動内容（現在第1回）

- ・構成メンバーの自己紹介を中心に、地域情報の交換・共有を行っている

よくあるご質問

質問 1 | 協議体は何をするのか？（5W1H式）

- ① 【なぜ】 超高齢社会（元気な高齢者も増える）を迎えるため
- ② 【誰が】 協議体のメンバー（多様な主体）が中心となり
- ③ 【何を】 地域の支え合い（互助）を
- ④ 【どうする】 推進する（広げていく）
- ⑤ 【いつ】 無理のない範囲で定期的に継続しながら
- ⑥ 【どうやって】 **やり方は決まっていない（それを話し合う）**

⇒ **大枠（大きいテーマ）だけ決まっていて、細かいことは決まっていません。**

⇒ 長い時間をかけて取り組むもので、即効性が求められているわけではなく、
できる範囲で定期的に継続していきます。

⇒ 例えば自分たちに介護が必要になる時にどういう地域だとよいか／できる限り介護が必要にならないようにするためにはどういう地域だとよいか等を話しながら、
地域が元気になるために自分たちが「無理なくできること」を話し合います。

質問2 | 協議体のゴール（目標）は何か？

- ① 「支え合いの地域づくり」にゴール（目標）はありません。
- ② 一つ挙げるとすると、**「目指す地域像」に向けた「情報共有の継続」と「できること探し（協働）」**が大きなゴール（目標）となります。
- ③ 一つ一つできることを話し合い、階段を登っていくようなイメージで、継続しながら、できることをやっていくことが大切となります。
- ④ 大きいゴール（目標）である「目指す地域像」以外に、小さなゴール（目標）を協議体において定めることも有効な手段となります。

質問3 | 継続していく協議体について運営の補助はあるのか？

事業費等を含む、第2層運営費を以下のとおり設定しています。

- ① 1地区当たり年最大**120**万（**10**万×**12**月・社協から支払う）

※年度末に清算となる

※今後の予算により、金額の内訳・用途（条件）等を変更する可能性があります

- ② 第2層に関する事業費（調査研究費、広報費、行事費、事務費等）と、
第2層協議体の運営費（会場費、事務費等）が対象となる

※詳しい対象経費は別途定める「第2層活動の手引き」のとおりに

質問4 | 誰が協議体のメンバーになるのか？誰が決めるのか？

- ① メンバーは「**地域の多様な主体**」となります。
- ② 本資料ではあくまでメンバーとして可能性がある各主体等を例示しているだけであり、セミナー・準備会の一連の流れの中で、協議体の規模や構成等のあり方を検討しながら、参加している方と**一緒に初期メンバー**を決めます。
※準備会で話されることを基に、協議体の初期メンバーとなる者を決める（立ち上げ）
- ③ 協議体が動いていく中で、メンバーの追加・変更をしていくことも可能です。
- ④ メンバーがなんらかの理由で参画できない場合の**代理参画**や**同様の主体で**チームをつくり、**交代しながらの参画**など各地区で具体的なあり方を検討することも可能です。
- ⑤ 協議体のメンバーにならない人・なれない人は、**メンバー以外の立場で協力**（メンバーを支える立場や現場の担い手として応援）することが考えられます。

質問 5 | 協議体の開催時間・方法は決められてるのか？

- ① セミナー・準備会については開催時間を予め指定しているが、協議体の趣旨を鑑みると、開催時間・方法を含めあらゆることについて「**地域（協議体）**」**で決めていく**こととなります。

※質問1のとおり「**やり方**」は決まっています。

※先行している地区の協議体は、概ね月 1 回の頻度で都度日程を決めているところが多い。

- ② そのため、準備会～協議体設置当初は**協議体を継続運営できるための「あり方」の検討**をある程度行う必要があります。

質問 6 | 協議体の事務局は誰が担うのか？

① 協議体の事務局（調整役）は **ＳＣ（生活支援コーディネーター）** が担うことを想定しています。

⇒ ＳＣ活動報酬内に事務局・調整役としての活動費を含んでいます。

※第２層ＳＣは地域内の連絡調整・第１層との連携等を担うために、

ＳＣ活動報酬として月額１５万を予定（配置後に社協から後払い）

※今後の予算により金額の内訳・用途（条件）等を変更する可能性があります

② 必要に応じて、**ＳＣ以外の者（主体）** が事務局機能を**担う**ことも**可能**。

⇒ 事務局としての調整機能や活動費用は、協議（相談）の上で決定します。

※第１層ＳＣである「板橋区社会福祉協議会」は第２層協議体の運営の後方支援（事務局の補佐などできうる支援）を担います。

質問 7 | 町会・自治会や民生・児童委員の活動との違いは何か？

町会・自治会	会費収入等で地域の防犯・防火・防災、環境美化・リサイクル、交通安全、地域交流（祭など）、青少年健全育成などの活動を行う。 その他、行政情報や地域情報等を回覧板・掲示板でお知らせする。
民生・児童委員	生活に困っている方やお年寄り、障がい者の方々の身近な相談窓口（時には相談機関へのパイプ役）として、相談・支援などの活動を行う。
協議体	町会・自治会や民生・児童委員だけではなく地域の関係者（各活動者）を含めた「多様な主体」が集まる。 既存の活動は継続しつつ、多様な主体で地域について情報共有をして、支え合いを推進するために無理なくできることを探していく場となる。

質問 8 | 協議体で具体的に何をするのか？（例 1）

例 1：気軽に体操できる場を地域に増やす

背景

みんなができるだけ健康で居続けるために、気軽に体操できる場を身近なところに増やせないか？と話があった

情報共有

- ・ 地域にどのような体操の場があるか
- ・ 地域にどのような体操の場が必要とされているか など

わかったこと

- ・ 地域内のA公園で週に 1 回介護予防体操をしているが、メンバーが固定化してマンネリ気味、人が集まりにくい等の課題がある
- ・ 意外と体操の場のニーズが多いが、実際にできる場は少ない など

できること探し（アイデアなど）

- ・ 地域の視点でもっと人が集まりやすくなる工夫を話し合う
- ・ 良い取り組みだから、地域内の他の公園でも広げてみよう
- ・ ●●病院のリハビリ職を知っているが、リハビリ職などの専門家から学ぶことで、何かしらの工夫を加えた体操のプログラムにできる など

質問 9 | 協議体で具体的に何をするのか？（例 2）

例 2：地域の情報を見やすくまとめて紹介する

背景

地域で様々な活動があるが、具体的な中身までよくわからないため、地域における活動の情報を見やすくまとめて紹介することはできないか？と話があった

情報共有

- ・ 地域にどのような活動があるか
- ・ その活動は高齢者の生活のどんな場面で参加／利用／活用できるか など

わかったこと

- ・ フォーマルからインフォーマルなことまで多種多様な活動がある
- ・ 民間企業等が独自に行っているサービスも多い
- ・ せっかくの良い活動も地域の人には意外と伝わっていない など

できること探し（アイデアなど）

- ・ 地域の視点でわかりやすい情報のまとめ方を話し合う
- ・ まとめた情報をうまく紹介する方法を話し合う（高齢者がよく行くような銀行、スーパー、診療所などに置く、必要に応じて渡してもらう） など